

Topics

- これまでに「医療用医薬品の産地／加工地が気になったことがある」と回答した医師は65%。
- 産地／加工地が気になった理由の多くは「品質の懸念」であり、具体的には、ジェネリック医薬品、血液製剤など特定の薬剤、特定の国や地域で生産された薬剤への懸念が挙げられた。
- 一方、「気になったことがない」医師では、あくまで効果を重視するため、産地／加工地は影響しないといった意見が目立った。
- 医薬品製造工程のうち、成分に関わる初期工程（原材料の産地・原薬製造地）の情報に対するニーズが高かった。
- 仮に“国産”と表示があった場合、剤形にかかわらず、先発品よりも後発品のほうが処方に与えるポジティブな影響は大きく、後発品においては産地／加工地に関する情報がより重要であることが示唆された。

調査背景・目的

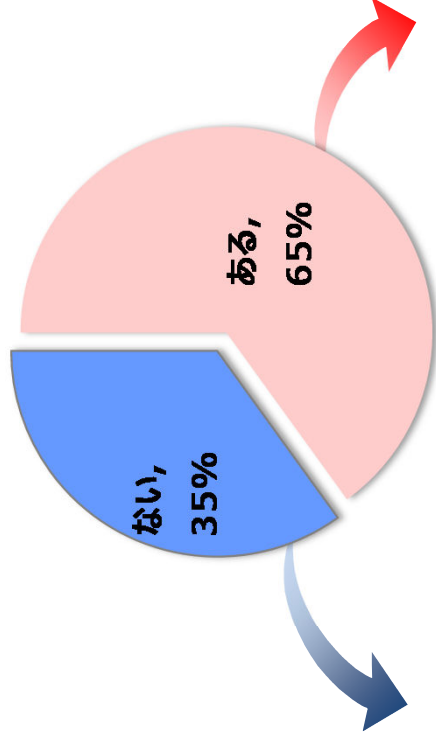
医療用医薬品の原産国表示は義務付けられていないため、原材料産地や加工地についてはあまり知られていない。
医薬品の産地／加工地に関する医師の認識や、原産国表示に対するニーズを確認した。

調査概要

調査方法：	インターネット調査 *クイックサーベイ
ボリューム：	5問
調査地域：	全国
調査対象：	500床以上の医療施設に勤務する内科系医師
有効回答数：	103サンプル
調査期間：	2016年8月5日～8月8日
調査主体：	株式会社アンテリオ Quick Survey室

医薬品の産地／加工地が気になった経験

n=103



気にならない理由

<自由回答>

n=36

考えたことがない／わからない	58%
品質に影響しないから	28%
-有効性	17%
-安全性	6%
情報がないから	8%
日本の承認基準を信頼しているから	8%

食料品は気にするが、医薬品は品質がよいと考えているから

気になる理由

<自由回答>

n=67

品質に対する懸念があるから	84%
-特定の薬剤について	37%
・ジェネリック	16%
・血液製剤	10%
・生物学的製剤	3%
・漢方	3%
-特定の産地／加工地の場合	22%
-安全性を懸念	15%
-有効性に疑問	12%
供給に問題があった	10%
製品に問題があった	9%
患者からの問い合わせがあった	3%
その他	10%

一般的な海外加工品に対する信頼性

ジェネリックが多くなり、どのような製造地でもそのような企業が製造しているか気になる

ジェネリックが主体となってきた中で、原料や産地加工地の記載がないのは不自然

加熱血液製剤について、ほぼ海外から入っている状況で、製造・処理に不安がある

医薬品の効果に影響を及ぼすものではないから

新興国の製品では、いまいち信用性が低い

処方薬の原産地を確認する機会が少ないので

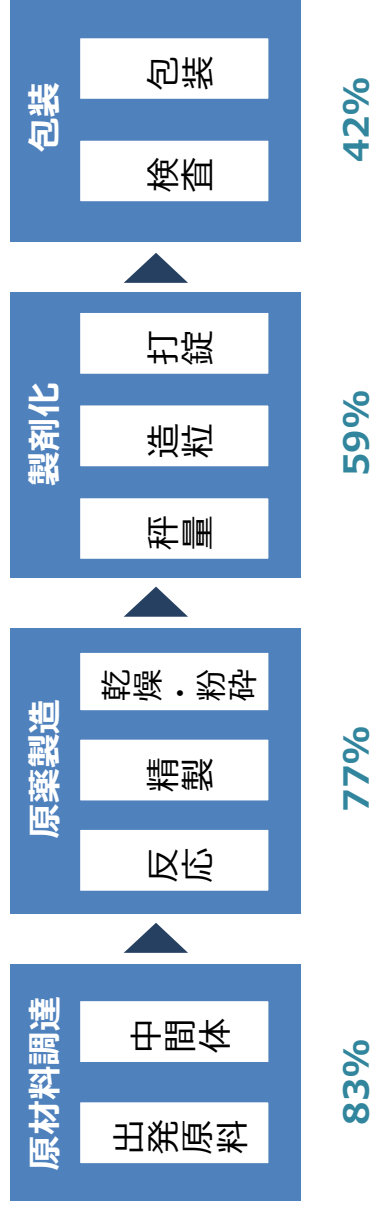
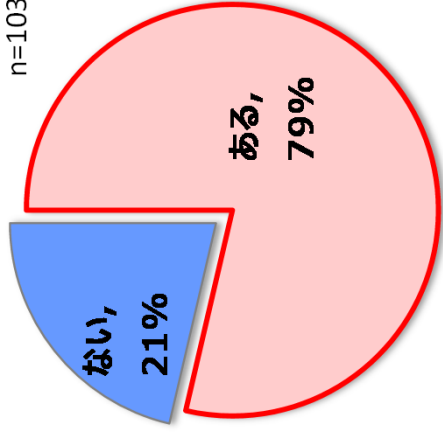
日本で承認されているものならば安全だろうと思っている

実施場所を知りたい医薬品製造工程の有無

実施場所を知りたい工程 <複数回答>

n=81

n=103



83%

77%

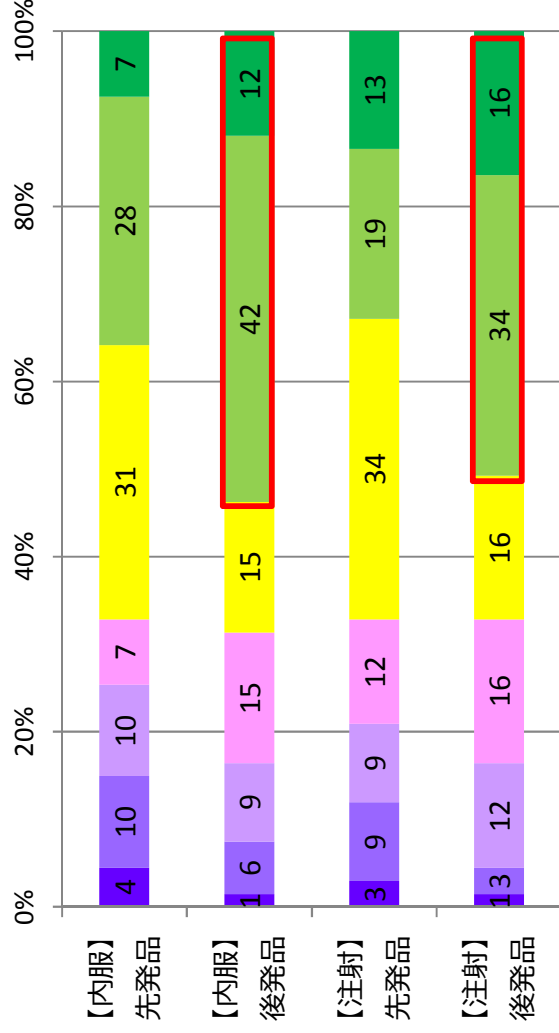
59%

42%

“国産”と表示された場合の、処方へのポジティブな影響 <単一回答>

■ 全く影響しない ■ 影響しない ■ あまり影響しない ■ どちらともいえない ■ やや影響する ■ 影響する ■ 非常に影響する

原産国が気になったことがある医師 (n=67)



原産国が気になったことがない医師 (n=36)

